

「サイバー犯罪防止講演会」を振り返って

先日のサイバー犯罪防止講演会では、スマホや SNS に潜む身近な危険について学びました。もう一度大事なポイントを振り返ってみましょう。特に 1 年生は、ZOOM での視聴でしたので、聴き取りにくかったこともあったと思います。改めて一読してみてください。

1. アカウントの乗っ取りに注意

「投票してほしい」などと頼まれて ID・パスワードを教えてしまい、アカウントを乗っ取られる被害が増えています。認証コードやパスワードは絶対に人に教えないのが鉄則です。

2. 写真・動画は「見られても平気なもの」だけ

「特定の人にしか見せていないから大丈夫」と思っている、設定ミスなどで第三者に見られることがあります。ネットで知り合った人に写真を送ってしまい、脅迫や拡散につながった例も。

撮らない・送らない・共有しないを徹底しましょう。一度ネットに出た情報は完全には消えません。

3. パスワードは使い回さない

1つのサービスから流出すると、他のアカウントも危険にさらされます。英字・数字・記号を組み合わせた、自分だけのルールで強いパスワードを作りましょう。

4. 人のアカウントに勝手にログインしない

友達のアカウントでも、ID・パスワードを使って無断でログインするのは「不正アクセス罪」という犯罪です。

5. 「闇バイト」の甘い言葉に注意

「荷物を運ぶだけ」「簡単に稼げる」という誘いから、個人情報を渡してしまい、後で脅されて抜け出せなくなるケースがあります。怪しい募集には連絡しない、友達に誘われても断る勇気を持ちましょう。

6. オンラインで知り合った人とは絶対に会わない

どんなに仲良くなっても、相手は年齢や素性を偽っているかもしれません。実際に会いに行ったら監禁された事例もあります。

7. 投稿する前に「写り込み」チェック

制服の校章、背景の建物、位置情報などから、学校や自宅が特定されることがあります。投稿前にもう一度、写っているものを確認しましょう。

振り返りチェックリスト

自分の普段の使い方を振り返ってみよう。

- ☐ パスワードを他のサービスと使い回していないか
- ☐ 認証コードや ID を人に教えたことはないか
- ☐ SNS に投稿する写真の背景を確認しているか
- ☐ 知らない人からの「簡単に稼げる」誘いに反応したことはないか
- ☐ オンラインだけで知り合った人と、会う約束をしたことはないか



一つでも不安なところがあれば、自分だけで判断せずに、身近な大人に相談しましょう。大人というのは個人で解決する力はなくとも、解決してくれる人を知っています。頼ってくださいね。